

職員各位

特定非営利活動法人にじのこ
デイサービスにじのこ給田

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表アンケート結果のお知らせ

日頃より、当法人の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日ご協力頂きましたアンケートの集計結果をご報告致します。改善点も含め、支援の質の向上と支援内容の適正化を図るための努力をしておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	1		・動きの大きい利用者や大きな声をあげる利用者もいるため、さらに広い場所や別の部屋が活用できれば理想的だが、クールダウンが必要な場合はベランダで対応する等して乗り切っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	12	1		・配置数は満たしているが、もう少し余裕を持った体制をとれるとよいと思う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13			・トイレはバリアフリー化されており、玄関に至る通路は車椅子利用に向けてスロープになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13			・非常勤職員の意向等を聞きながら、常勤職員が目標を設定し、定期的に振り返りや改善点について話し合いを行い、目標を更新している。 ・話し合いの時間を取っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13			・毎年 1 月頃に保護者等に向けて評価表に基づくアンケート調査を実施し、集計した結果を業務改善に活かしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13			・毎年 3 月には自己評価の結果をホームページで公開し、にじのこだよりでもそのことを伝えている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13			・直近ではないが、平成 30 年度に第三者評価を受け、マニュアルの改善等につなげた。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			・法人全体の研修に加え、事業所内でも今年度は制度やペアレント・トレーニングに関する研修を実施した。

					・細かく研修を周知している。研修を受ける時間の提案もある。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13		・利用者の観察や保護者からの聞き取り、学校での様子等を踏まえながら、限られた利用時間の中で現実的に実施できる目標を設定し、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	1	・心理検査までは行っていないが、意見書提出の場面で指標に基づくアセスメントを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	1	・立案はプログラムリーダーとして個人で行うことが主で、プログラム会議という形では行っていないが、振り返りで出た職員の意見や提案を取り入れる等して改善する等、チームで行えるように努めている。職員から提供された素材を有効活用する等、皆でコラボレーションできるように努めている。 ・色々な活動をそれぞれの曜日に組み込んでいる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13		・繰り返すことで見通しを持ちやすくなり、安心して取り組める場合もあるので、あえてフォーマットを固定化する時もあるが、子どもたちの興味を反映させたり、季節の要素を取り入れたりして、少しでも多様な内容になるよう努めている。 ・一方で「くりかえし」の活動の安心感も大事にしている。 ・プログラムの提案等を心掛けていきたい。 ・同じ活動が続かないように組まれている。 ・それぞれの職員が個別で企画し内容が重複しないようになっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12		・普段は利用時間が短い利用者もいるので、行事の多い時期には無理のない活動に努めている。学校が早い日や長期休暇の場合は、時間をかけて取り組めるような内容を取り入れることもある。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	13		・集団での活動を重視しているが、幅広い年代の利用者がいるので、全体では同じテーマを設定しても、制作の中では個別の内容を取り入れている。利用者によっては、個別に身近自立を重視している利用者もいる。	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前には毎回打ち合わせを行い、ヘルパー等で途中から入る職員に関しては、できる範囲で個別に確認している。 ・必ず実施している。 ・デイ開始後に支援に入ることが多いのでもっと確認を徹底していきたい。 ・ヘルパーで出ている時等出来ない場合もある。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後には毎回打ち合わせを行い、ヘルパー等で参加できない職員に関しては、連絡票等を通じて共有に努めている。 ・ヘルパー兼務のスタッフが複数いるので難しい場面もある。 ・後から気づいた点の報告を忘れてしまうことがあるので注意したい。 ・ヘルパーで出ている時等出来ない場合もある。次の出勤日の打ち合わせの時に前回の様子を伝え、気づいた点を共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・記録の書き方については、必要に応じて研修の機会を設けてきたが、個別目標につながる記録については適宜周知が必要な面もある。支援の検証という意味でも職員間の振り返りの機会を大切にして、少しでも記録に反映できるよう努めている。 ・自分の記録はまだ十分ではないと思うので正確で他者に伝わるものにするように心がけたい。
⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	13		<ul style="list-style-type: none"> ・概ね半年に1回保護者と個別面談を実施し、必要に応じて見直しを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援と創作活動等、ガイドラインの基本活動を組み合わせさせて支援を行っていることをブログでも紹介した。虐待防止の観点やガイドラインの基本活動にある地域交流の機会の提供の一環として、今年度途中からおはなし会やコンサートなど、まずはイベント的なボランティアの受け入れを行った。
関係機 ⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に応じて、施設長か児童発達支援管理責任者が参加している。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12			・保護者経由で年間行事予定表をいただいで状況を把握し、必要に応じて学校から直接連絡が来ることもある。デイサービスの職員が移動支援のヘルパーになる場合もあるが、学校によっては頻繁に下校時刻の変更があり、混乱が生じるケースがあった。保護者経由で毎週予定表をいただくことで、以前よりは調整がスムーズになっている。
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2	2	・区ではふるさと納税を医療的ケア児の支援に活用する等、力を入れていることは承知しているが、設備や職員体制の問題もあり、医療的ケア児の受け入れは現在実施していない。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	2		・幼児グループにじのこから来る利用者に関しては、個別支援計画等の情報を共有し、スムーズな受け入れに努めている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2	1	・直近ではないが、求めに応じて保護者経由で個別支援計画を障害福祉サービス事業所に提供したことがあった。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11			・今年度は機会がなかったが、昨年度は区保健センター専門相談課の巡回訪問を受け、注意の向け方等についての助言を受けた。発達相談室で実施しているペアレント・トレーニングの動画を職員が研修として受けることができ、日々の支援に活かしている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	6	・インクルージョンの観点からは大切な面もあるが、自己評価のアンケートでは保護者から必要性を感じないという声もあったことや、感染症対策を重視していた面もあったため、積極的には機会を設定していない。皆が参加できる地域交流イベントの中にその要素を組み込んだつもりではいる。 ・コロナやインフルエンザの影響のため。 ・保護者の希望による。
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	2		・デイサービス事業を代表し幼児グループの職員が自立支援協議会に参加してきた。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			・来降所時に保護者と対面した時には利用者の様子をできる範囲で伝えている。必要に応じて電話や連絡帳なども活用しながら、少しでも共通理解を持てるように努めて

					いる。 ・受け入れ、送り出し時にその日の状況を聞いたり伝えたりしている。
	⑳ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	2	1	・保護者に対して直接行ってはいないが、今年度に関しては事業所の研修としてペアレント・トレーニングについて触れる機会を設け、間接的に保護者支援につながるよう努めている。 ・職員もペアレント・トレーニング等の研修を受けている。
保護者への説明責任等	㉑ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			・契約時に説明を行っている。
	㉒ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	1		・面談だけでなく、保護者から対面や電話で相談があった場合は応じ、使えるサービスや地域連携につなげている。
	㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	2	・保護者会に関しては、自己評価のアンケートからもあまり要望がなく、積極的に実施していないが、成人になってからの生活を成人の保護者から知りたいという要望が何件あったので、検討していきたい。 ・成人後に困らないための学童期に体得しておくべきアドバイスなど伝える機会があればよいと思う。
	㉔ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1		・苦情に対する窓口を設け、担当者が対応するようにしている。仮に苦情があった場合は、それを基に連携を深める機会につながるよう丁寧な対応を意識している。 ・ヒヤリハット等は共有されているが苦情もあれば共有されてよいと思う。
	㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13			・毎月にじのこだよりを発行して活動の様子を保護者に伝え、同意書に基づいた形でホームページにも掲載している。施設内に活動で制作したにじのこ新聞を掲示し、利用者に活動の内容を振り返る機会を提供し、やりとりの機会にもつなげている。
	㉖ 個人情報に十分注意しているか	13			・個人情報に関しては同意書をとっており、それに応じた形で広報を行っている。個人情報の入った書類に関しては鍵付きのロッカーに入れている。 ・自分では注意しているつもりだが子どもが

					いる場面では他児の話をしないなど徹底して意識したい。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			・利用者の支援では絵カードやサイン等を活用し、可能な場合は学校と統一したものを取り入れるようにしている。書類のやりとりが多いため、保護者の状況に応じながら連絡を取りやすい手段を考慮し、個別にリマインドをすることもある。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	7	1	・感染症の流行状況を見ながら、事業所単独ではないが、今年度は法人の地域交流事業として子どもたちの作品展や成人余暇事業を中心としたコンサートを実施した。ブログでは作品制作の様子を伝え、コンサートでは給田の活動で制作した楽曲を披露することで、給田の様子を少しでも知ってもらえるように努めた。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13			・緊急時対応マニュアルについては、年度当初に保護者に改めて配布している。新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインに関しては、ホームページで公表している。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13			・基本的に毎月1回程度は地震や火災、不審者対応等を想定した避難訓練を実施している。 ・よきアドバイザーに知恵をもらっている。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13			・法人全体で毎年1回、虐待防止や権利擁護に関する研修を実施している。日々の支援の振り返りの中で気になることは話題にする等して、虐待の芽を摘むようにしている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13			・法人として身体拘束の適正化についての指針を制定し、ホームページで公表している。やむを得ずクールダウン等のため行動制限が必要となる可能性がある利用者には、事前に保護者に事情を説明して個別支援計画に記載し、同意を得ている。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13			・アレルギーのある利用者に関しては、医師の指示を保護者経由で確認し、対応している。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			・ヒヤリハットがあった場合は随時職員に周知すると共に、3ヶ月に1回集計を行い、

					<p>分析したものを共有している。</p> <ul style="list-style-type: none">・四期ごとに共有している。季節、年齢等で何らかの傾向があるのか分析して減少につながればよいと思う。・出勤時に確認できるようになっている。
--	--	--	--	--	---